

教 科	国 語	科 目	言語文化	単 位 数	3 単位
履修学年 (区分)	1 年 (必履修科目)	使用教科書 副教材など	新言語文化 (三省堂)	履修年度	令和7年度
科目の目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。					

評価規準・観点の趣旨	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	授業中の取り組み、音読や朗読、小テスト、課題の状況、定期考査で評価する。	授業中の取り組み、授業中の話し合いの状況、ノート点検、小テスト、課題の状況、作文、相互評価、定期考査で評価する。	授業中の態度や発言、行動観察、ノート点検、自己評価、相互評価で評価する。

※各単元の【主体的に取り組む態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単元	教 材	学 習 内 容	評 価 基 準	対応
1 学 期	4	2	入 門	「千年の時が与えてくれる安堵」	●言語文化の現代的な価値を考える。	【知識・技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	1ーア B1ーイ
				5	3	読書は生きる力	「枕草子 春はあけぼの／ありがたきもの」
	「故事二編 虎の威を借る／朝三暮四」	○物語の解釈の多様さを考える。					
	「ゴール」	○文章の結末について考えをまとめる。					
	6	3	物語は無限に展開する				「沙石集 児の飴食ひたること」
				「説苑 景公之馬」	○「景公」が「晏子」の発言から何を読み取ったか、まとめる。		
				「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。		
				7	3	物語は無限に展開する	「沙石集 児の飴食ひたること」
	「説苑 景公之馬」	○「景公」が「晏子」の発言から何を読み取ったか、まとめる。					
	7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ
「沙石集 児の飴食ひたること」				○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	
			「沙石集 児の飴食ひたること」	○登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合う			
7	3	物語は無限に展開する	「羅生門」	○「下人」の心情の変化を確認する。	【知識・技能】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 期末考査	2ーイ B1ーウ	

2 学 期	9 10 11 12	3 3 3 3 3 3	言葉は時空を かけめぐる 人の心は万華鏡 秋を切り抜く			【思考・判断・表現】 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	A I - ア
				「伊勢物語 芥川／筒井筒」	○古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。	【知識・技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	I - オ
				「和歌十首 小倉百人一首より」 「短歌七首 近代・現代の短歌」	○助動詞・係り結びの法則などの文法事項を理解する。 ○描かれた情景を表現に即して読み味わう。	【思考・判断・表現】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる 中間調査	B I - オ
				「野焼」			
				「オムライス」	○心情表現の多様さを捉える	【知識・技能】 言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。	2 - オ
				「十八史略 鶏口牛後／先従隗始」	○言語表現の多様さを捉える	【思考・判断・表現】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 期末調査	B I - イ
				「平家物語 木曾の最期」	○素材のよさや味わいを生かす		
				「詩に表す」 「短歌・俳句に表す」	○	【知識・技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考・判断・表現】 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。	I - イ
3 学 期	1 2 3	3 3 3	共感 は海を越える	「漢詩四編」	○それぞれの漢詩の心情を、漢詩が作られた時代や作者の背景をふまえて捉える。	【知識・技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 学年末調査	I - ア
				「待ち伏せ」	○文章中の表現をもとに、「いま」の「私」の心情について、考えをまとめる。		B I - エ
				「インタビュー『人間』を描きたい」	○日本の伝統的な言語芸能が海外でどのような評価を受けているか、新聞記事を参考にしながら話し合う。		

教 科	国語	科 目	現代の国語	単 位 数	2 単位
履修学年 (区分)	2 年 (必修科目)	使用教科書 副教材など	新現代の国語 (三省堂) クリアカラー国語便覧 (数研出版)	履修年度	令和7年度
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。				

評価規準・観点の趣旨	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり俯瞰したりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うために、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。
評価方法	授業中の取り組み、小テスト、課題の状況、定期考査で評価する。	授業中の協働の状況、ノート点検、小テスト、課題の状況、作文、プレゼンテーション、スピーチ、相互評価、定期考査で評価する。	授業中の態度や発言、グループワークの状況、行動観察、ノート点検、自己評価、相互評価で評価する。

※各単元の【主体的に取り組む態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単元	教 材	学 習 内 容	評 価 基 準	対応
1 学期	4	2	入門	「言葉と声で表そう」	●写真を見て想像力をはたらかせ、その表情の特徴を見いだす。	【知識・技能】 ○言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ○読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	知識ア 書くイ
		3	わかり合うために	「伝え合いに大切なことを考える」	○情報を読み取り、理解したことや解釈したことを発表する。 ○事例と考えとを区別しながら、筆者の考えの中心を捉える。	【知識・技能】 ○常用漢字の読みに慣れ、常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。主張と論拠など情報の関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	知識ウ 情報ア 書くア
	5	3		「届く言葉、届かない言葉 鷲田清一」	○コミュニケーションについて、自分の考えを広げたり深めたりする。		読むア
		3		「わかりあえないことから 聞く力 平田オリザ 阿川佐和子」			
	6	3	確かな情報を伝えるために	「情報はつくられる」	○身近にある体験などから情報を吟味するために必要な視点を獲得する。	【知識・技能】 ○情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ○目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集し、伝え合う内容を検討している。 ○自分の考えが的確に伝わるよう立場を明確にし、構成や展開を工夫している。	情報エ 話す聞くア
		3		「ひとまず、信じない」押尾守	○自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫させる。		
		3		「情報を編集し、的確に発表する」	○話す相手や場を意識しながら、集めた情報を編集し、スピーチする。		
	7					期末考査	

2 学 期	9	3	情報を生かすために	「人が死なない防災」片田敏孝	○筆者の考える災害情報が避難に結びつかない理由を整理する。	【知識・技能】 ○実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに語句の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ○話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 ○目的や場に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信憑性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	言葉エ		
		3		「減災学をつくる」矢守克也	○筆者の考えるハザードマップの問題点を整理する。		情報エ		
		3		「評価した情報をまとめる」	○伝える相手や目的を明確にし、情報の妥当性を考えて、報告書やポスターを作る。 ○ハザードマップにタイムラインを加えたものを見て、人々の避難に対する意識の変化を調べて報告する。		言葉イ 書くア		
		10	3	よりよい読み手になるために	「読むことのレッスン」飯間浩明	○情報を分析・評価するために、事例を比較して述べる方法の、長所と短所について考える	【知識・技能】 ○個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	情報イ	
			3		「水の東西」山崎正和	○比較による論の展開に注意して読む。 ○筆者の主張がどのような事実に基づいているかを整理分析する。	【思考・判断・表現】 ○論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、引用や要約をしながら論述している。 ○目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章構成や論理の展開などについて評価したりするとともに自分の考えを深めている。	読むア 読むイ	
			3		「コインは円形か」佐藤信夫	○文章中から「問題」「結論」「理由」の要素を読み取り、筆者の主張をつかむ。			
			11	3	場に応じて伝えるために	「中身当てクイズ」佐藤雅彦	○根拠を明確にして、導き出した答えを説明する。	【知識・技能】 ○話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ○主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	言葉イ 情報ア
				3		「読み比べるー海ガメの無念」	○二つの文章を読み比べ、それぞれの文章の構成と表現に尺目視が伝えたいことを捉える。	【思考・判断・表現】 ○論理の展開を予想しながら聞き、藩士の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるよう表現を工夫すること。	話す聞くエ 話す聞くウ
				3		「構成や展開を意識して発表するープレゼンテーション」	○聞き手を意識して、5枚のフリップを使った方法を学習する。		
	12	3	考えを共有する	「織の中の“街”」安田菜津紀	○写真の分析をとおして、事例を基に推論する。	【知識・技能】 ○比喩・例示・言い換えなどの修辞や、や直接的・婉曲的な述べ方について理解して使っている。 ○引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。	言葉カ		
		3		「小さな哲学者」中村安希	○媒体による情報の伝わり方の違いを理解する。		情報オ		

		3		多様な意見に触れるーパネルディスカッションー	○多様な意見に触れ、伝えることの意味や方法を理解する。	【思考・判断・表現】 ○論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。	話す聞く オ
3 学 期	1	3	よりよい書き手になるために	「ありのままの世界は見えない」 田中真知	○事例と考えを自分の中でしっかり結びつけながら読み進められるように展開する。	【知識・技能】 ○文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ○推論の仕方を理解し使うこと。	言葉オ 情報ウ
	2	3		「ものとことば」 鈴木孝夫	○自分の発言や書いたことを、他者とのやり取りの中で推敲、進化させていくことを意識した表現活動につなげていく。	【思考・判断・表現】 ○ある目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ○目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりしている。	書くア 書くエ
	3	3		「情報を活用して説得的に書く」ー小論文	○自身の問題意識が喚起されるよう、これまでの学びを振り返り、課題を決定する。		
		2		「書いた文章を批評し合う」ー推敲	○推敲することをとおして、言語による情報の伝達に対する認識を深める。	学年末考査	

教 科	国語	科 目	国語表現	単 位 数	3単位
履修学年	3学年	使用教科書 副教材など	『国語表現』『新小論文ノート』 (東京書籍) 『国語必携パーフェクト演習』 (尚文出版)	履修年度	令和7年度
科目の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

※各単元の【主体的に取り組む態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

2 学 期	7	15	「自分」を表現しよう 〈面接・自己PR〉	「『自分』を表現しよう—面接・自己PR」 「人前で表現するのが苦手なあなたへ」	○志望理由書・履歴書の作成、模擬面接などで、相手に伝わるように「自分」を表現する。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分にかかわる事柄のなかから適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。	Iーイ B1ーア
	9	12	論理的な文章を書こう 〈小論文〉	「論理的な文章を書こう—小論文」 「文章修正ワーク」 「パラグラフ・ライティング」 「リンクを張る能力の鍛え方」	○小論文を書くことを通して、与えられたテーマに対して自分の考えを明確にする力と、論理的で説得力のある文章を書く力を身につける。	【知識・技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 中間考查	Iーウ B1ーイ
	10	10	話し合う力をつけよう 〈ファシリテーション〉	「話し合う力をつけよう—ファシリテーション」 「スポーツと同じように議論にもルールがある」 「同じ論拠から多様性を見いだすには」	○合意形成を目的とする話し合いの展開パターンとそれを支えるファシリテーションの概念及び基本的なスキルを学ぶ。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。	Iーイ A1ーエ
	11	10	表現と読書活動	「表現と読書活動」 「広告・PRの表現」 「読書もまた一つの『経験』」	○本を紹介したり、本の内容について対話したりする活動を通して、思考を深め、表現を豊かにする。	【知識・技能】 ・自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫すること。 期末考查	2ーア A1ーカ B1ーオ
	12	12	情報活用力を身につけよう 〈広報資料〉	「情報活用力を身につけよう—広報資料」 「報告書の書き方」 「読者への配慮」	○正確な情報を見極め、その情報を目的に合わせて効果的な表現で発信する。	【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。	Iーエ B1ーオ

3 学期	I	10	説得力のある提案をしよう (プレゼンテーション)	「説得力のある提案をしようープレゼンテーション」 「提案書の書き方」 「プレゼンテーションの仕方」	○フィードバックで他者の意見を取り入れることで、相手の心を動かすよりよい表現を目指す。	【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫すること。 学年末考査	Iーエ AIーオ BIーエ
------	---	----	-----------------------------	--	--	--	------------------------------------

教 科	公 民	科 目	公 共	単 位 数	2
履修学年 (区分)	1 学年 (必履修科目)	使用教科書 副教材など	公共（実教出版） クローズアップ公共2025 (第一学習社)	履修年度	令和7年度
科 目 の 標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

評価基準・観点の趣旨	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	定期考査、授業中の取り組み 小テスト、プリント、提出物	定期考査、授業中の取り組み 小テスト、プリント、提出物	授業中の取り組み プリント、提出物

学期	月	時数	単元	教 材	学 習 内 容	評 価 基 準
1 学 期	4	2	公 共 の 扉	社会を作る私たち	社会参画をする際に 選択・判断するための 手掛かりとなる概念 や理論を学習する。 青年期 自己形成の課題 職業生活と社会参加	【知識・技能】 ・人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・自立した主体になることが、よりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。
	5	4		人間としてよく生きる	社会参画をする際に 選択・判断するための 手掛かりとなる概念 や理論を学習する。	【知識・技能】 ・人間は、互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。
		2		他者とともに生きる	科学と人間 人間と幸福 公正な社会をめざして 人間の尊厳と平等 自由・権利と責任・義務	・個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。
	6	4		民主社会の倫理		【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。

[illegible]

3 学 期	1 2 3	1 4	よりよい社会の形成に参加する私たち	日本経済の特質と国民生活	他者と協働して主題を追究したり解決をしたりする活動をおこなう。 戦後日本経済の成長と課題 転機に立つ日本経済 経済社会の変化と 中小企業 農業と食料問題 消費者問題 公害の防止と環境 保全 労働問題と労働者の権利 今日の労働問題 社会保障の役割 社会保障制度の課題	【知識・技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 学年末考査
-------------	---------------------	-----	-------------------	--------------	---	---

教 科	地理歴史	科 目	地理総合	単 位 数	2
履修学年 (区分)	2学年 (必履修科目)	使用教科書 副教材など	高校生の地理総合(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	履修年度	令和7年度
科 目 の 標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

評価基準・観点の趣旨	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	地理に関わる諸事象に関して世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所や人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める
評価方法	定期考査、授業中の取り組み 小テスト、プリント、提出物	定期考査、授業中の取り組み 小テスト、プリント、提出物	授業中の取り組み プリント、提出物

学期	月	時数	単元	教 材	学 習 内 容	評 価 基 準
1 学 期	4	4	地図や地理情報システムで捉える現代世界	地図や地理情報システムと現代世界	地球儀と地図 地図と地理情報システム 現代世界の国家と領域	【知識・技能】 - 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 - 日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 - 現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 - 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 - 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 地図や地理情報システムが、日常生活の様々な場面で持続可能な社会づくりのために果たしている役割やその有用性に気付いている。
	5	7			地図から見る国内や国家間の結びつき	
	6	5				
	7	5	国際理解と国際協力	生活文化の多様性と国際理解	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の産業と人々の生活 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	【知識・技能】 - 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 - 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 - 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 地理的環境には自然環境だけでなく、歴史的背景や人々の産業の営みなどの社会環境も含まれることに留意し、多様な習慣や価値観などをもつ人々と共存する意識を高めようとしている。
	9	7			多様な生活文化と地理的環境	

2 学 期	10	6		地球的課題と国際協力	人口問題	【知識・技能】 ・世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 ・世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習取り組む態度】 ・地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題が，それぞれ相互に関連し合い，地域を越えた課題であることを認識し，主体的に解決しようとしている。	
					食料問題		
					都市・居住問題		
	11	7			感染症・衛生問題		
					資源・エネルギー問題		
					地球環境問題		
3 学 期	12	4	持続可能な地域づくりと私たち	自然環境と防災	日本の自然環境	【知識・技能】 ・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地形図やハザードマップなどの主題図の読図など，日常生活と結び付いた地理的技能を身に付けるとともに，防災意識を高めようとしている。	
					地震・津波や火山活動による災害と防災		
					気象災害と防災		
	1	6				自然災害への備え	
	2	5					
3	4			生活圏の調査と地域の展望	【知識・技能】 ・生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・生活圏の地理的な課題について，生活圏内や生活圏外との結び付き，地域の成り立ちや変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これまでの学習成果を活用しながら，生徒の特性や学校所在地の事情などを考慮して，地域調査を実施し，生徒が適切にその方法を身に付けるよう工夫している。		
				生活圏の調査と地域の展望			

教 科	公 民	科 目	公 共	単 位 数	2
履修学年 (区分)	2学年 (選択科目)	使用教科書 副教材など	公共（実教出版） クローズアップ公共2024 (第一学習社)	履修年度	令和7年度
科 目 の 標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

価 値 基 準 ・ 観 点 の 趣 旨	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評 価 方 法	定期考査、授業中の取り組み 小テスト、プリント、提出物	定期考査、授業中の取り組み 小テスト、プリント、提出物	授業中の取り組み プリント、提出物

学期	月	時数	単元	教 材	学 習 内 容	評 価 基 準
1 学 期	4	15	よりよい社会の形成に参加する私たち	国際政治の動向と課題	他者と協働して主題を追究したり解決をしたりする活動をおこなう。	【知識・技能】 ・主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土・領空・領海が国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・具体的な主題を設定し合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国家主権、領域、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	5				国際社会と国際法 国際連合と国際協力 こんにちの国際政治 人種・民族問題 軍拡競争から軍縮へ 国際平和と日本の役割	
	6					
	7	20			国際経済の動向と課題	貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 第二次世界大戦後の国際経済 地域的経済統合の進展 国際経済のつながりと課題 発展途上国の諸課題と日本の役割 SDGsの実現に向けて
2 学 期	9					

3 学 期	10	5	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	持続可能な社会をめざして	現実社会の諸課題を発見したうえで、その課題の解決に向けた合意の形成をめざし、協働的に考察して、構想し、自分の考えを説明、論述する。 社会的な課題の発見と資料の収集・分析 社会的な課題の探求 自分の考えの説明、論述 さらなる探求にむけて	【知識・技能】 ・これまでに身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、習得した知識及び技能を活用している。 【思考・判断・表現】 ・地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，諸課題を主体的に解決しようとしている。
	11			現代の経済社会	他者と協働して主題を追及したり解決をしたりする活動をおこなう。 経済主体と経済活動の意義 経済社会の変容 市場のしくみ 市場の失敗 現代の企業・国民所得 経済成長と国民の福祉 金融の役割 日本銀行の役割 財政の役割と租税 日本の財政の課題	【知識・技能】 ・雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	12					

教 科	地理歴史	科 目	地理総合	単 位 数	2
履修学年 (区分)	3学年 (選択科目)	使用教科書 副教材など	高校生の地理総合(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	履修年度	令和7年度
科 目 の 標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

評価基準・観点の趣旨	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	地理に関わる諸事象に関して世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所や人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める
評価方法	定期考査、授業中の取り組み 小テスト、プリント、提出物	定期考査、授業中の取り組み 小テスト、プリント、提出物	授業中の取り組み プリント、提出物

学期	月	時数	単元	教 材	学 習 内 容	評 価 基 準
1 学 期	4	6	国際理解と国際協力	生活文化の多様性と国際理解	世界の地形と人々の生活	【知識・技能】 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地理的環境には自然環境だけでなく、歴史的背景や人々の産業の営みなどの社会環境も含まれることに留意し、多様な習慣や価値観などをもつ人々と共存する意識を高めようとしている。
	5	8			世界の気候と人々の生活	
	6	7			世界の産業と人々の生活	
	7	5			世界の宗教・民族・言語と人々の生活	
2 学 期	9	6			多様な生活文化と地理的環境	
	10	8			東アジア	
					東南アジア	
					インド	
					中央アジア 西アジア 北アフリカ	
					サハラ以南アフリカ	
					ヨーロッパ	
				ロシア		
				アメリカ合衆国		

2 学 期	11	8		地球的課題と国際協力	オセアニア	人口問題 食料問題 都市・居住問題 感染症・衛生問題 資源・エネルギー問題 地球環境問題 【知識・技能】 ・世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 ・世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題が，それぞれ相互に関連し合い，地域を越えた課題であることを認識し，主体的に解決しようとしている。
	12	6				
	1	6				
3 学 期	2		持続可能な地域づくりと私たち	自然環境と防災	日本の自然環境	【知識・技能】 ・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地形図やハザードマップなどの主題図の読図など，日常生活と結び付いた地理的技能を身に付けるとともに，防災意識を高めようとしている。
	3				地震・津波や火山活動による災害と防災	
					気象災害と防災	
					自然災害への備え	

教 科	地理歴史	科 目	歴史総合	単 位 数	2
履修学年	3学年	使用教科書	新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来 (第一学習社)	履修年度	令和7年度
科 目 の 標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				

評価基準	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
評価方法	定期考査、授業中の取り組み 小テスト、プリント、提出物	定期考査、授業中の取り組み 小テスト、プリント、提出物	授業中の取り組み プリント、提出物
	定期考査、小テスト、プリントの内容や提出物の状況、授業中の取り組みを総合的に評価します。定期考査には、『完成ワーク 社会』も範囲に加えます。		

学期	月	時数	単 元	学習内容および評価の観点	評価の観点		
					①	②	③
1 学 期	4	2	歴史の扉 ①歴史と私たち	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○
		2	②歴史の特質と資料	・日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○
		1	近現代の世界と日本 近代化への問い	・交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○

1 学 期	4	2	18世紀のアジアの 繁栄	・18世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○
	5	8	工業化の進展と 国民国家の建設	・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向，日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○
	6	6	結び付く世界と日 本の開国	・産業革命と交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを基に，工業化と世界市場の形成を理解する。 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○
	7	6	帝国主義とアジア 諸国の変容	・列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○
2 学 期	9	1	近代化と現代的な 諸課題	・自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点から主題を設定し，現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 ・事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，主題について多面的・多角的に考察し，表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○
		1	国際秩序の変化や大 衆化と私たち 国際秩序の変化や 大衆化への問い	・国際関係の緊密化，アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭，植民地の独立，大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化，生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し問いを表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○
	10	7	第一次世界大戦と 大衆社会	・第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。	○ ○		

2 学 期	10		国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。		○		○
		6	経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に国際協調体制の動揺を理解する。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○		○	○
		4	第二次世界大戦後の世界と日本	・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○		○	○
	11	1	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	・自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして主題について多面的・多角的に考察し表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む	○		○	○
		1	グローバル化と私たち グローバル化への問い	・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ・グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○		○	○
		4	冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○ ○		○	

3 学 期	1		・ 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。		○	○
		6	世界秩序の変容と日本 ・ 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。 ・ 冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 ・ アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○ ○	○ ○	○
		2	現代的な諸課題の形成と展望 ・ 持続可能な社会の実現を視野に入れ、自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。 ・ 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・ 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○

教 科	数学	科 目	数学 I	単位数	3
履修学年	1 学年	使用教科書	新 高校の数学 I (数研出版)	履修年度	令和 7 年度
科目の 目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する処理する能力を培い、数学的のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する能力を育てる。				

評価 規 準	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈をしたり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の課程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価 方 法	授業中の取り組み 授業での発問に対する応答 定期考査	小テスト 課題の状況 定期考査	授業での態度や発言 ノート点検 課題の状況

※各単元の【主体的に取り組む態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの課題を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単 元	学習内容	評 価 基 準
1 学 期	4	6	図形と計量	・ 三角比	【知識・技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。
	5	10	数と式	・ 式の計算	【知識・技能】 2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 【思考・判断・表現】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
	6	11	数と式	・ 実数 ・ 1次不等式	【知識・技能】 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めること。 【思考・判断・表現】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用すること。

	7	8	図形と計量	・ 三角形への応用	【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の課程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【知識・技能】 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。 期末考查
2 学 期	9	8	2次関数	・ 2次関数とグラフ ・ 2次関数の値の変化	【知識・技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。また、2次関数の最大値や最小値を求めること。 【思考・判断・表現】 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 中間考查
	10	9	2次関数	・ 2次方程式と2次不等式	【知識・技能】 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解すること。また、2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めること。 【思考・判断・表現】 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。
	11	9	データの分析	・ データの整理と代表値 ・ データの散らばり	【知識・技能】 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。 【思考・判断・表現】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。また、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を理解すること。 期末考查
	12	8	集合と論証	・ 集合 ・ 命題	【知識・技能】 ベン図などを用いて、数学の対象を整理すること。集合に関する基本的な用語・記号を理解していること。簡単な命題やその命題の逆・裏・対偶などを集合と関連付けて理解していること。 【思考・判断・表現】 集合の包含関係と命題を関連付けて捉え、それらを命題の考察に活用しようとしていること。
3 学 期	1	9	総合演習	総合演習	【知識・技能】 これまで学習してきた事項を、さまざまな問題への解決へ生かすことができる。 【思考・判断・表現】 数学的な思考により問題の解決の糸口を見出すことができ、それを表現することができる。 学年末考查
	2	6			
	3	6			

教 科	数学	科 目	数学Ⅱ	単位数	3
履修学年	2 学年	使用教科書	新 高校の数学Ⅱ (数研出版)	履修年度	令和 7 年度
科目の 目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数、対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る、事象を数学的に考察し表現する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

評価 規 準	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の 考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数 学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論 拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価 方法	授業中の取り組み 授業での発問に対する応答 定期考査	小テスト 課題の状況 定期考査	授業での態度や発言 ノート点検 課題の状況

※各単元の【主体的に取り組む態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの課題を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単 元	学習内容	評 価 基 準
1 学 期	4	7	三角関数	三角関数	【知識・技能】 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること。 【思考・判断・表現】 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに三角関数の加法定 理から新たな性質を導くこと。 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察すること。
	5	10	三角関数	加法定理	【知識・技能】 三角関数の加法定理や 2 倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。 【思考・判断・表現】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、 問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象と の関係を考察したりすること。
	6	9	指数関数・対数関数	指数関数	【知識・技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し指数法則を用いて数や 式の計算をすること。 (指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考・判断・表現】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、 問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象と の関係を考察したりすること。

	7	8		対数関数	【知識・技能】 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考・判断・表現】 指数と対数を相互に関連付けて考察すること。 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について多面的に考察すること。 [期末考查]
2 学 期	9	10	方程式・式と証明	多項式の乗法と除法 複素数とその計算・解の公式 解と係数の関係 因数定理と簡単な高次方程式・恒等式	【知識・技能】 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすること。複素数の四則計算をすること。二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。 【思考・判断・表現】 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。 [中間考查]
	10	10	図形と方程式	点と直線 円	【知識・技能】 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。 【思考・判断・表現】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。
	11	9	微分と積分	微分の考え	【知識・技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。 【思考・判断・表現】 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 [期末考查]
	12	8		積分の考え	【知識・技能】 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。 【思考・判断・表現】 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。
3 学 期	1	9	方程式・式と証明	二項定理 不等式の証明	【知識・技能】 これまで学習してきた事項を、さまざまな問題への解決へ生かすことができる。簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。 【思考・判断・表現】 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。 [学年末考查]
	2	6	図形と方程式	軌跡とその方程式	
	3	5	総合演習	総合演習	

教 科	数学	科 目	数学B（選択：公務員）	単位数	2
履修学年	2 学年	使用教科書	新 高校の数学B（数研出版）	履修年度	令和 7 年度
科目の 目標	数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得を図り、数学と社会生活の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活とのかかわりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価 方 法	授業中の取り組み 授業での発問に対する応答 定期考査	小テスト 課題の状況 定期考査	授業での態度や発言 ノート点検 課題の状況

※各単元の【主体的に取り組む態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの課題を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単 元	学習内容	評 価 基 準
1 学 期	4	5	数列	数列とその和	【知識・技能】 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。 【思考・判断・表現】 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し 考察すること。
	5	7			
	6	6	数列	漸化式と数学的帰納法	【知識・技能】 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすること。 【思考・判断・表現】 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、 数列の考えを問題解決に活用すること。 期末考査
	7	4			

2 学 期	9	7	数的推理	整数問題・虫食い算 魔法陣・文章題	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 中間考查
	10	6		2つに円の関係・作図 直線と平面 空間図形と多面体	
	11	7		約数と倍数・素数と素因 数分解 最大公約数と最小公倍数 整数の割り算	【知識・技能】 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解すること。 【思考・判断・表現】 数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察すること。 期末考查
3 学 期	12	4		演習	
	1	7		ユークリッドの互除法 1次不定方程式 記数法	【知識・技能】 数学史的な話題，数理的なゲームやパズルなどを通して，数学と文化との関わりについての理解を深めること。 【思考・判断・表現】 パズルなどに数学的な要素を見いだし，目的に応じて数学を活用して考察すること。 学年末考查
	2	4		座標の考え方 ゲーム・パズルの中の数学	
	3	3		演習	

教 科	数学	科 目	数学B（選択：進学）	単位数	2
履修学年	2 学年	使用教科書	新 高校の数学B （数研出版）	履修年度	令和 7 年度
科目の 目標	数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得を図り、数学と社会生活の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

評価 規 準	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活とのかかわりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価 方 法	授業中の取り組み 授業での発問に対する応答 定期考査	小テスト 課題の状況 定期考査	授業での態度や発言 ノート点検 課題の状況

※各単元の【主体的に取り組む態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの課題を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単 元	学習内容	評 価 基 準
1 学 期	4	6	数列	数列とその和	【知識・技能】 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。 【思考・判断・表現】 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し 考察すること。
	5	6			
	6	6	数列	漸化式と数学的帰納法	【知識・技能】 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすること。 【思考・判断・表現】 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、 数列の考えを問題解決に活用すること。 期末考査
	7	4			

2 学 期	9	7	ベクトル	平面上のベクトルとその演算	【知識・技能】 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察することができる。 【思考・判断・表現】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を持つこと 中間調査
	10	6		ベクトルと平面図形	
	11	7		空間ベクトル	
3 学 期	12	4			【知識・技能】 【思考・判断・表現】 期末調査
	1	7	統計的な推測	確率分布	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 学年末調査
	2	4		統計的な推測	
	3	3			

教 科	数学	科 目	数学Ⅱ	単位数	2
履修学年	3 学年	使用教科書	新編 数学Ⅱ （数研出版）	履修年度	令和 7 年度
科目の 目標	式の除法や分数式の計算、複素数や高次方程式の解法、座標平面上の図形の方程式について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、式の操作の学習を通し、事象を数学的に考察し表現する能力を養う。問題解決への取り組みを通して、これらの学習内容を活用する態度を育てる。				

評価 規 準	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	三次の乗法公式及び因数分解の公式、多項式の除法や分数式、複素数の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算ができる。 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係、因数定理と簡単な高次方程式の解法について理解し、諸問題に対し活用ができる。 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離、直線および円の方程式や、不等式の表す領域を求めることができる。	実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察できる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論 拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価 方法	授業中の取り組み 授業での発問に対する応答 定期考査	小テスト 課題の状況 定期考査	授業での態度や発言 ノート点検 課題の状況

※各単元の【主体的に取り組む態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの課題を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単 元	学習内容	評 価 規 準
1 学期	4	5	方程式・式と証明	多項式・分数式の計算	【知識・技能】 3 次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解ができる。 多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算ができる。 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。 2 次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。 因数定理について理解し簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。
	5	7		2 次方程式・高次方程式	
	6	6	就職試験対策	就職試験対策	
	7	6			

2 学 期	9	8	図形と 方程式	点と直線	【知識・技能】 座標を用いて，平面上の線分を内分する点，外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。 座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 軌跡について理解し，簡単な場合について軌跡を求めることができる。 簡単な場合について，不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 【思考・判断・表現】 数量と図形との関係などに着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして，問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。
	1 0	8		円	
	1 1	8			
	1 2	6		軌跡と領域	
3 学 期	1	6			

教 科	数学	科 目	数学Ⅲ（選択：進学）	単位数	2
履修学年	3 学年	使用教科書	最新 数学Ⅲ （数研出版）	履修年度	令和 7 年度
科目の 目標	極限，微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 数列や関数の値の変化に着目し，極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。				

評価規準	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	数列および関数の極限について理解し，簡単な場合について極限を調べることができる。 積・商の導関数や，三角関数・指数関数・対数関数の導関数を理解し，諸問題に対し活用ができる。 置換積分法・部分積分法の仕組みを理解し，積分の計算に生かすことができる。	式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして，極限を求める方法を考察することができる。 三角関数，指数関数及び対数関数の導関数や，立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察することができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論 拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価方法	授業中の取り組み 授業での発問に対する応答 定期考査	小テスト 課題の状況 定期考査	授業での態度や発言 ノート点検 課題の状況

※各単元の【主体的に取り組む態度】については，【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに，自らの課題を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単 元	学習内容	評 価 規 準
1 学期	4	6	極限	数列の極限	【知識・技能】 数列の極限，無限級数の収束，発散について理解し，無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めることができる。 簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴，合成関数や逆関数の意味や，関数の値の極限について理解すること。 【思考・判断・表現】 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして，極限を求める方法を考察することができる。
	5	8		関数の極限	
	6	6	微分法	微分法	【知識・技能】 関数の積及び商の導関数について理解し，関数の和，差，積及び商の導関数を求めることができる。 合成関数の導関数，三角関数，指数関数及び対数関数の導関数について理解し，求めることができる。 導関数を用いて，いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり，いろいろな関数の値の増減，極大・極小，グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりすることができる。 【思考・判断・表現】 導関数の定義に基づき，三角関数，指数関数及び対数関数の導関数を考察することができる。 関数の連続性と微分可能性，関数とその導関数や第二次導関数の関係について考察することができる。
	7	6		微分法の応用	
2 学期	9	8			

2 学 期	1 0	8	積分法	積分法	【知識・技能】 不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さなどを求めることができる 【思考・判断・表現】 関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察することができる。 極限や定積分の考えを基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察することができる。
	1 1	8			
	1 2	6		積分法の応用	
3 学 期	1	4			

教 科	数学	科 目	数学A（選択：公務員）	単位数	2
履修学年	3 学年	使用教科書	新編 数学A（数研出版）	履修年度	令和7年度
科目の 目標	場合の数と確率、図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。また、数学と人間の活動の学習を通して、整数の性質やゲーム・パズルの中の数学などの知識を深め、数的推理の問題解決への能力を育む。				

評価 規 準	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	2年次で習得した図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則や、数学と人間の活動の関係を通して身につけた技能を諸問題へ活用することができる。	2年次で育成した数理的に考察する力を生かし、図形問題を論理的に考察することや、事象の起こりやすさを判断すること、数学と人間の活動との関わりを考察することができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価 方法	授業中の取り組み 授業での発問に対する応答 定期考査	小テスト 課題の状況 定期考査	授業での態度や発言 ノート点検 課題の状況

※各単元の【主体的に取り組む態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの課題を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単 元	学習内容	評 価 規 準
1 学 期	4	4	総合演習	判断推理Ⅰ	【知識・技能】 数理的なゲームやパズルなどを通して培った思考力を問題解決へ生かすことができる。
	5	8			【思考・判断・表現】 問題解決の過程で生じた疑問点を論理的に考察することができる。
	6	6	総合演習	数的推理Ⅰ	【知識・技能】 これまで培った技術や知識を文章題や整数および確率の問題の解決へ活用することができる。
	7	6			【思考・判断・表現】 問題解決の過程で生じた疑問点を論理的に考察することができる。 期末考査
2 学 期	9	8	総合演習	判断推理Ⅱ・数的推理Ⅱ	【知識・技能】 論理パズルや発言を推理する問題、いくつかの条件から状況を整理する問題へ取り組めるようになる。
	10	8			【思考・判断・表現】 問題解決の過程で生じた疑問点を論理的に考察することができる。 中間考査
	11	8	総合演習	数学と人間の活動	【知識・技能】 数学史的な話題，数理的なゲームやパズルなどを通して，数学と文化との関わりについての理解を深めることができる。
	12	6			【思考・判断・表現】 パズルなどに数学的な要素を見いだし，目的に応じて数学を活用して考察することができる。 期末考査
3 学 期	1	6			学年末考査

教 科	理 科	科 目	科学と人間生活	単位数	2
履修学年	1 学年	使用教科書	科学と人間生活 (東京書籍)	履修年度	令和 7 年度
科目の目標	自然の事物・現象に関り、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。				

	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
評価基準	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関りについて理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにすることができるか。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養うことができるか。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高めることができるか。
評価方法	考査 小テスト 授業への取組 課題の内容	考査 授業への取組 課題の内容	授業への取組 課題の提出状況及びその内容
	定期考査の成績を中心に評価しますが、小テストや課題（ノート・問題集・プリント・レポートなど）の提出状況及びその内容、授業への取組も含め、総合的に評価します。		

学期	月	時数	単元・教材・学習内容	評価の基準
1 学期	4	20	序章 科学技術の発展	[知技]科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解している。 [思考]科学技術の発展と人間生活との関りについて科学的に考察し表現できる。 [態度]科学技術と人間生活の関りに高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
			2編1章 材料とその再利用 ②金属の性質とその再利用	[知技]観察・実験を行い、金属の種類、性質及び用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解している。 [思考]金属の性質とその再利用について、科学的に考察し表現できる。 [態度]金属の性質とその再利用について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
			1編2章 ヒトの生命現象 ②血糖濃度を調節するしくみ	[知技]観察・実験を行い、血糖濃度を調節するしくみについて、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]血糖濃度を調節するしくみについて、科学的に考察し表現できる。 [態度]血糖濃度を調節するしくみについて、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
	5	5	4編2章 自然景観と自然災害 ①身近な自然景観の成り立ち	[知技]観察・実験を行い、身近な自然景観の成り立ちについて、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]身近な自然景観の成り立ちについて、科学的に考察し表現できる。 [態度]身近な自然景観の成り立ちについて、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
			一学期末考査	
	7	10	4編2章 自然景観と自然災害 ②自然災害と人間	[知技]観察・実験を行い、自然災害と人間について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]自然災害と人間について、科学的に考察し表現できる。 [態度]自然災害と人間について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。

2 学 期	9	2編1章 材料とその再利用 ③プラスチックの性質とその再利用	[知技]観察・実験を行い、プラスチックの性質とその再利用について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]プラスチックの性質とその再利用について、科学的に考察し表現できる。 [態度]プラスチックの性質とその再利用について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
		1編2章 ヒトの生命現象 ③体を守る免疫のしくみ	[知技]観察・実験を行い、について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]について、科学的に考察し表現できる。 [態度]について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
		二学期中間考査	
	10	14 2編1章 材料とその再利用 ①リサイクルとは何か	[知技]観察・実験を行い、リサイクルとは何かについて、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]リサイクルとは何かについて、科学的に考察し表現できる。 [態度]リサイクルとは何かについて、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
		1編2章 ヒトの生命現象 ①ヒトの視覚と光による影響	[知技]観察・実験を行い、ヒトの視覚と光による影響について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]ヒトの視覚と光による影響について、科学的に考察し表現できる。 [態度]ヒトの視覚と光による影響について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
		11 3編1章 光の性質とその利用 ①光の進み方とその基本的性質	[知技]観察・実験を行い、光の進み方とその基本的性質について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]光の進み方とその基本的性質について、科学的に考察し表現できる。 [態度]光の進み方とその基本的性質について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
		②目に見える光と色の見え方	[知技]観察・実験を行い、目に見える光と色の見え方について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]目に見える光と色の見え方について、科学的に考察し表現できる。 [態度]目に見える光と色の見え方について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
		二学期末考査	
		12 19 3編1章 光の性質とその利用 ③目に見えない光とその利用	[知技]観察・実験を行い、目に見えない光とその利用について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]目に見えない光とその利用について、科学的に考察し表現できる。 [態度]目に見えない光とその利用について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
3 学 期	1	1編2章 ヒトの生命現象 ④生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき	[知技]観察・実験を行い、生命現象の大もととなる遺伝子のはたらきについて、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]生命現象の大もととなる遺伝子のはたらきについて、科学的に考察し表現できる。 [態度]生命現象の大もととなる遺伝子のはたらきについて、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
		2 3編1章 熱の性質とその利用 ①熱とは何か	[知技]観察・実験を行い、熱について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]熱について、科学的に考察し表現できる。 [態度]熱について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
		学年末考査	
	3	7 3編2章 熱の性質とその利用 ②エネルギーの利用と私たちの暮らし	[知技]観察・実験を行い、エネルギーの利用について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]エネルギーの利用と私たちの暮らしについて、科学的に考察し表現できる。 [態度]エネルギーの利用と私たちの暮らしについて、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。

教 科	理 科	科 目	物理基礎	単位数	2
履修学年	2 学年	使用教科書	物理基礎（東京書籍）	履修年度	令和 7 年度
科目の目標	物体の運動と様々なエネルギーに関り、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。				

	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
評価基準	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができるか。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができるか。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができるか。
評価方法	考査 小テスト 授業への取組 課題の内容	考査 授業への取組 課題の内容	授業への取組 課題の提出状況及びその内容
	定期考査の成績を中心に評価しますが、小テストや課題（ノート・問題集・プリント・レポートなど）の提出状況及びその内容、授業への取組も含め、総合的に評価します。		

学期	月	時数	単元・教材・学習内容	評価の基準
1 学期	4	20	2編1章 熱 ①温度と熱 ②熱の移動と保存	[知技]観察・実験を行い、熱について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]熱について、科学的に考察し表現できる。 [態度]熱について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
	5		1編1章 運動の表し方 ①運動の表し方	[知技]観察・実験を行い、運動の表し方について、人間生活と関連付けて理解している。
	6		②等速直線運動 ③合成速度と相対速度	[思考]運動の表し方について、科学的に考察し表現できる。 [態度]運動の表し方について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
			一学期末考査	
	7	10	1編1章 運動の表し方 ④直線運動の加速度 ⑤落体の運動	[知技]観察・実験を行い、運動の表し方について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]運動の表し方について、科学的に考察し表現できる。 [態度]運動の表し方について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
2 学期	9		2編2章 波 ①波を表す ②波の重ね合わせ ③音の性質 ④弦の固有振動 ⑤気柱の固有振動	[知技]観察・実験を行い、波について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]波について、科学的に考察し表現できる。 [態度]波について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
			二学期中間考査	

2 学 期	10	14	1編2章 さまざまな力とそのはたらき ①力とつり合い ②運動の法則 ③さまざまな運動とはたらく力	[知技]観察・実験を行い、さまざまな力とそのはたらきについて、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]さまざまな力とそのはたらきについて、科学的に考察し表現できる。 [態度]さまざまな力とそのはたらきについて、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
	11		1編3章 力学的エネルギー ①エネルギーと仕事	[知技]観察・実験を行い、力学的エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]力学的エネルギーについて、科学的に考察し表現できる。 [態度]力学的エネルギーについて、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
			二学期末考査	
	12	19	1編3章 力学的エネルギー ②運動エネルギーと位置エネルギー ③力学的エネルギーの保存 ④力学的エネルギーが保存されない場合	[知技]観察・実験を行い、力学的エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]力学的エネルギーについて、科学的に考察し表現できる。 [態度]力学的エネルギーについて、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
3 学 期	1		2編3章 電気と磁気 ①電流と電圧	[知技]観察・実験を行い、電気と磁気について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]電気と磁気について、科学的に考察し表現できる。 [態度]電気と磁気について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。
	2		②電気抵抗 ③抵抗の接続 ④電気とエネルギー ⑤直流と交流 ⑥電磁波	
			学年末考査	
	3	7	2編4章 エネルギーとその利用	[知技]観察・実験を行い、エネルギーとその利用について、人間生活と関連付けて理解している。 [思考]エネルギーとその利用について、科学的に考察し表現できる。 [態度]エネルギーとその利用について、高い興味・関心、科学的に探究しようとする態度をもっている。

教 科	外国語 英語	科 目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3
履修学年	1 学年	使用教科書	All Aboard! English Communication I	履修年度	令和7年度
科目の 目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。				

評価 規 準	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
評価 方 法	授業中の観察 音読 小テスト・各考査	授業中の観察、パフォーマンステスト プレゼンテーション、ファイル点検 各考査	授業中の行動観察、ファイル点検 ワークブック、課題の状況、自己評価、

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評価
1 学 期	4	3	Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko	[言語材料] be 動詞	【知識・技能】 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について、考えや好み、その理由を話して伝える技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いて伝えて合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いて伝えて合おうとしている。
		3	Pre-Lesson 2 I Like Junk Food!	[言語材料] 一般動詞	
	5	9	Lesson1 Breakfast around the World	[題材内容] 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 [言語材料] 過去形 [言語活動] 好きな食べ物について、英語で述べることができる。	
	6 7	12	Lesson2 Australia's Cute Quokkas	[題材内容] オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 [言語材料] 進行形：〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉 [言語活動] 好きな動物について、英語で述べることができる。（プレゼンテーション）	【知識・技能】 進行形〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 【思考力・判断力・表現力】 オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いて伝えて合っている。

					【主体的に学習に取り組む態度】 オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
2 学 期	9	1 0	Lesson3 A Train Driver in Sanriku	〔題材内容〕 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。 〔言語材料〕 助動詞：can, will 〔言語活動〕 ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。	【知識・技能】 助動詞 can, will を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	10	1 0	Lesson4 A Miracle Mirror	〔題材内容〕 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 〔言語材料〕 to 不定詞：〈to＋動詞の原形〉 〔言語活動〕 行ってみたい場所について、英語で述べることができる。（発表）	【知識・技能】 〔知識〕 to 不定詞 〈to＋動詞の原形〉 を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to 不定詞 〈to＋動詞の原形〉 を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	1 1 1 2	1 4	Lesson5 Learning from the Sea	〔題材内容〕 高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。 〔言語材料〕 動名詞：〈動詞の-ing 形〉 〔言語活動〕 将来の夢について、英語で述べることができる。（スピーキングテスト）	【知識・技能】 〔知識〕 動名詞 〈動詞の-ing 形〉 を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞 〈動詞の-ing 形〉 を用いて、考えや気持ち、情報などを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽し

					んだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
3 学 期	1 2 3	1 5	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period	[題材内容] 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 [言語材料] 受け身：〈be 動詞＋過去分詞〉 [言語活動] 好きな絵について、英語で述べることができる。 (プレゼンテーション)	【知識・技能】 [知識] 受け身 〈be 動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 好きな絵の紹介とその理由について、受け身 〈be 動詞＋過去分詞〉を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 歌川国芳の浮世絵に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな絵とその理由について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歌川国芳の浮世絵に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな絵とその理由について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。

教 科	外国語 英語	科 目	論理表現 I	単位数	2
履修学年	2 学年	使用教科書	Standard Vision Quest English Logic and Expression I	履修年度	令和 7 年度
科目の 目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。				

評価 規 準	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
評価 方 法	授業中の観察 ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査	授業中の観察・パフォーマンステスト ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査	授業中の観察・パフォーマンステスト、ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査
	①言語活動の取り組み状況の観察（思考・判断・表現・主体的に学習に取り組む態度） ②パフォーマンステスト（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ③課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ④Partごとの確認テスト、中間・期末考査、評価問題など（知識・技能、思考・判断・表現）		

※各単元の【主体的な取り組み態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評 価
1 学 期	4	4	Lesson1 I want to introduce my new friends	紹介（文の種類）	【知識・技能】 様々な文の種類を理解し、学校生活について情報や考え、気持などを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 学校生活について情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、書いたりすることができる。
	5	8			
2 学 期	6	6	Lesson2 Do you want to join our show?	学校生活（文型と動詞）	【知識・技能】 様々な文型を理解し、自分のことについて情報や考え、気持などを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 自分のことについて情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、書いたりすることができる。
	7	3			
	9	8	Lesson3 I'm planning a day trip this weekend.	旅行・観光（時制）	【知識・技能】 様々な時制を理解し、自分の予定について情報や考え、気持などを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 自分の予定について情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、書いたりすることができる。
	10	7			

	11	7	Lesson4 Have you ever tried it before?	趣味・関心（完了形）	【知識・技能】 様々な完了形を理解し、経験したことについて情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 経験したことについて情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、書いたりすることができる。
	12	4			
3 学 期	1	6	Lesson 5 What do you want to do after high school?	将来・進路（助動詞）	【知識・技能】 様々な助動詞を理解し、友だちへの助言や自分の意志について情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 友達への助言や自分の意志について情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、書いたりすることができる。
	2	7			
	3	4			

教 科	外国語 英語	科 目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
履修学年	2 学年	使用教科書	All Aboard! English Communication Ⅱ	履修年度	令和 7 年度
科目の 目標	日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりして、意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。多様な語句を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りをしたり、論理性に注意して詳しく話したり書いて伝えることができる。				

評価 規 準	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	必要な情報や話し手・書き手の意図、概要を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて情報や自分の考えなどを、論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身につけている。	必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。	必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
評価 方 法	授業中の観察 ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査	授業中の観察・パフォーマンステスト ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査	授業中の観察・パフォーマンステスト ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査
	①言語活動の取り組み状況の観察（思考・判断・表現・主体的に学習に取り組む態度） ②パフォーマンステスト（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ③課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ④Partごとの確認テスト、中間・期末考査、評価問題など（知識・技能、思考・判断・表現）		

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評 価
1 学 期	4	6	Lesson1 A Colorful Island	[題材内容] イタリアのプラーノ島への旅行を報告する SNS を通して、その島の特色について学習する。 [言語材料] 関係代名詞：what [言語活動] 海外で行ってみたい場所について、英語で述べる ことができる。	【知識・技能】 関係代名詞 what を用いた文の形・意味を理解している。また、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて調べた事柄を整理・理解している。関係代名詞 what の理解をもとに、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、自分で調べた事柄を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 海外の観光地に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海外の観光地に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	6 7	7 4	Lesson2 With the Beatles	[題材内容] 曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。 [言語材料] 比較表現：more, the most [言語活動] 世代を超えて人気のある人物について、英語で述べる ことができる。	【知識・技能】 比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文の形・意味を理解している。また、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について調べた事柄を整理・理解している。比較表現〈more〉〈the most〉の理解をもとに、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について自分で調べた事柄を用いて、理由などを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 世代を超えて人気のある音楽バンドに関して書か

					れた対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 世代を超えて人気のある音楽バンドに関して書かれた対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
2 学 期	9 10	7 7	Lesson3 Wild Men	【題材内容】 ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチを通して、人間社会と自然について考える。 【言語材料】 it の用法 【言語活動】 身近な行事について、英語で紹介することができる。	【知識・技能】 it を用いた文 〈It is … (for →) to 〜〉 〈It is … that 〜〉の形・意味を理解している。また、ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり、身近な行事について調べた事柄を整理・理解している。it を用いた文 〈It is … (for →) to 〜〉 〈It is … that 〜〉の理解をもとに、ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり、身近な行事について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、身近な行事について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、身近な行事について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	11 12	7	Lesson4 Little Hero	【題材内容】 世界最小の鳥であるハチドリを紹介する記事とハチドリの物語を通して、不断の努力と不屈の心について考える。 【言語材料】 間接疑問文 【言語活動】 自分の好きな物語を英語で紹介することができる。	【知識・技能】 間接疑問文の形・意味を理解している。また、ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり、好きな物語について調べた事柄を整理・理解している。間接疑問文の理解をもとに、ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり、自分で調べた事柄を用いて、考えや理由などを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にして書かれた物語の文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな物語について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや理由などを話したり書いたりして伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にして書かれた物語の文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな物語について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。

3 学 期	1	7	Lesson5 Special Makeup in Kabuki	【題材内容】 日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学習する。 【言語材料】 to 不定詞を含む表現 【言語活動】 日本の伝統文化について、英語で説明することができ	【知識・技能】 to 不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。また、歌舞伎と隈取について学んだり、日本の伝統文化について調べた事柄を整理・理解している。to 不定詞を含む表現の理解をもとに、歌舞伎と隈取について学んだり、日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドの文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本の伝統文化について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドの文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本の伝統文化について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
	2	5			
	3	4			

教 科	外国語 英語	科 目	論理表現 I	単位数	2
履修学年	3 学年	使用教科書	Standard Vision Quest English Logic and Expression I	履修年度	令和 7 年度
科目の 目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。				

評価 規 準	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
評価 方 法	授業中の観察 ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査	授業中の観察・パフォーマンステスト ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査	授業中の観察・パフォーマンステスト ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査
	①言語活動の取り組み状況の観察（思考・判断・表現・主体的に学習に取り組む態度） ②パフォーマンステスト（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ③課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ④Partごとの確認テスト、中間・期末考査、評価問題など（知識・技能、思考・判断・表現）		

※各単元の【主体的な取り組み態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評 価
1 学 期	4	4	Lesson 5 What do you want to do after high school?	将来の進路（助動詞）	【 知識・技能 】 様々な助動詞を理解し、友達への助言や自分の意志について情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能をみにつけている。 【 思考・判断・表現 】 友達への助言や自分の意志について情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、書いたりすることができる。 【 知識・技能 】 様々な受動態を理解し、日常生活について情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能をみにつけている。 【 思考・判断・表現 】 日常生活について情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、書いたりすることができる。 【 知識・技能 】
	5	8			
2 学 期	6	6	Lesson 6 Did you hear about the new shop?	日常生活（受動態）	【 知識・技能 】 様々な不定詞を理解し、交流・交際について情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能をみにつけている。 【 思考・判断・表現 】 交流・交際について情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、書いたりすることができる。
	7	3			
2 学 期	9	8	Lesson 7 I'm happy to have you with us	交流・交際（不定詞）	【 知識・技能 】 様々な不定詞を理解し、交流・交際について情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能をみにつけている。 【 思考・判断・表現 】 交流・交際について情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、書いたりすることができる。
	10	7			

	11	7	Lesson 8 What sport do you like playing?	スポーツ・健康（動名詞）	【知識・技能】 動名詞を理解し、スポーツ・健康について情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 スポーツ・健康について情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、書いたりすることができる。
	12	4			
3 学 期	1	6	Lesson 9 Digital media has come a long way	メディア・コミュニケーション（分詞）	【知識・技能】 様々な分詞を理解し、日本の文化について情報や考え、気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 日本の文化について情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、書いたりすることができる。
	2				
	3				

教 科	外国語 英語	科 目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3
履修学年	3 学年	使用教科書	VISTA English Communication Ⅱ	履修年度	令和7年度
科目の 目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。				

評価 規 準	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
評価 方 法	授業中の観察 ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査	授業中の観察・パフォーマンステスト ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査	授業中の観察・パフォーマンステスト ワークブック、課題の状況 小テスト・各考査
	①言語活動の取り組み状況の観察（思考・判断・表現・主体的に学習に取り組む態度） ②パフォーマンステスト（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ③課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ④Partごとの確認テスト、中間・期末考査、評価問題など（知識・技能、思考・判断・表現）		

※各単元の【主体的な取り組み態度】については、【知識・技能】と【思考・判断・表現】の評価項目について粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしているかを通年の評価基準とする。

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評 価
1 学 期	4	7	Lesson 5 Mon-Saint-Michel	○モン・サン・ミシェルについて学ぶ ○完了形の使い方について学ぶ	【 知識・技能 】 モン・サン・ミシェルについて文法事項に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。 【 思考・判断・表現 】 モン・サン・ミシェルについて、理解を深めるために、内容を読み取り、概要や要点を把握できている。
	5	1 0			
	6	1 0	Lesson 6 Smart Agriculture	○スマート農業について学ぶ ○受け身の使い方について学ぶ	【 知識・技能 】 スマート農業について文法事項に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。 【 思考・判断・表現 】 スマート農業について、理解を深めるために、内容を読み取り、概要や要点を把握できている。
	7	7			
2 学 期	9	1 0	Lesson 7 A Material Art on Tatami	○競技かるたについて学ぶ ○関係詞について学ぶ	【 知識・技能 】 競技かるたについて文法事項に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。 【 思考・判断・表現 】 競技かるたについて、理解を深めるために、内容を読み取り、概要や要点を把握できている
	10	1 0			

	11 12	10 8	Lesson 8 Biologging	○バイオロギングについて学ぶ ○分詞構文や強調構文の使い方について学ぶ	【知識・技能】 バイオロギングについて文法事項に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 バイオロギングについて、理解を深めるために、内容を読み取り、概要や要点を把握できている
3 学 期	1 2 3	10	既習事項の復習	○今まで学んだ文法事項の復習など	【知識・技能】 今まで学んだ文法事項に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 与えられた英文について、理解を深めるために、内容を読み取り、概要や要点を把握できている

教 科		保健体育	科 目	体 育	単 位 数	3	
履修学年		1 学年	使用教科書	アクティブスポーツ（大修館）	履修年度	令和7年度	
科目の目標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。					
評価規準 （評価の観点及び趣旨）		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		○運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようになり、運動の多様性や体力の必要性の理解を基に技能を身に付けることができたかを評価する。	○生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができたかを評価する。		○運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲と健康・安全を確保し、運動に主体的に取り組み、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を評価する。		
評価の方法		・授業に対する積極的な取り組み，学習意欲，自主性，協調性，各選択種目での技能などを総合的に評価する。					
		主 な 学 習 内 容				評価方法等	
1 学 期	4月	体育理論 ○運動・スポーツの文化的特徴 ○運動・スポーツの学び方 ○豊かなスポーツライフの設計 体づくり運動 ○集団行動 ○体力を高める運動 柔道（領域内選択） ○基本動作 ○対人技能 バスケットボール（領域内選択） ○シュート・パス・ドリブル ○オールコートゲーム バレーボール（領域内選択） ○パス・レシーブ・トス・スパイク ○ラリーゲーム ○ゲーム サッカー（領域内選択） ○ドリブル・リフティング・ヘディング・トラップ・シュート ○攻撃と防御 ○ゲーム ソフトボール（領域内選択） ○守備（キャッチボール・ノック） ○攻撃（バッティング） ○ゲーム ラグビー（領域内選択） ○パス・キャッチ・ステップ・キック ○簡易ゲーム 陸上 ○競走（長距離） バドミントン（領域内選択） ○各種ストローク（フォア、バック）・サービス ○ゲーム ソフトテニス（領域内選択） ○サーブ・レシーブ・ラリー ○ゲーム 器械運動 ○マット運動（前転、後転、開脚前転、伸膝前転、倒立前転、側転 腕立て前方転回）				体育 各運動領域テスト 有酸素運動総合評価 学習意欲・自主性 協調性等の総合評価	
	5月						
	6月						
	7月						
2 学 期	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
3 学 期	1月						
	2月						
	3月						
そ の 他							

教 科		保健体育		科 目		保 健		単 位 数		1	
履修学年		1 学年		使用教科書		現代高等保健体育（大修館書店） 現代高等保健ノート（大修館書店）		履修年度		令和7年度	
科目の目標		保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。									
評価規準 （評価の観点及び趣旨）		知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
		○個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能も身に付いたか評価する。			○個人生活や社会生活における健康・安全に関する内容について科学的に思考・判断し、それらを、筋道を立てて他社に表現できているかを評価する。			○自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復をめざそうとする態度を評価する。			
評価の方法		・定期考査の成績と、授業態度、保健ノートの整理状況や課題への取り組みなどを点検し、総合的に評価する。 ・保健ノートは、正確さ、丁寧さや工夫している点があるかどうかを評価する。									
学期	月	時数	主 な 学 習 内 容						評価方法等		
1 学 期	4月	2	1 現代社会と健康 1. 健康の考え方と成り立ち 2. 私たちの健康のすがた 3. 生活習慣の予防と回復 4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復 6. 運動と健康 7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康 9. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康 1 学期末テスト 11. 薬物乱用と健康						主体的に学習に取り組む態度 （授業・提出物・プリント・各考査） 思考・判断・表現 （提出物・発表内容） 知識・技能 （各考査・提出物・プリント）		
	5月	3									
	6月	4									
	7月	3									
2 学 期	9月	2	12. 精神疾患の特徴 13. 精神疾患の予防 14. 精神疾患からの回復 15. 現代の感染症 16. 感染症の予防 17. 性感染症・エイズとその予防 18. 健康に関する意思決定・行動選択 19. 健康に関する環境づくり 2 学期末テスト 2 安全な社会生活 1. 事故の現状と発生要因								
	10月	3									
	11月	4									
	12月	2									
3 学 期	1月	2	2. 安全な社会の形成 3. 交通における安全 4. 応急手当の意義とその基本 5. 日常的な応急手当 学年末テスト 6. 心肺蘇生法（実習）								
	2月	3									
	3月	2									
そ の 他											

教 科		保健体育	科 目	体 育	単 位 数	2
履修学年		2学年	使用教科書	アクティブスポーツ（大修館）	履修年度	令和7年度
科目の目標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。				
評価規準 （評価の観点及び趣旨）		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		○運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようになり、運動の多様性や体力の必要性の理解を基に技能を身に付けることができたかを評価する。	○生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができたかを評価する。		○運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲と健康・安全を確保し、運動に主体的に取り組み、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を評価する。	
評価の方法		・授業に対しての積極的な取り組み，学習意欲，自主性，協調性，各選択種目での技能などを総合的に評価する。				
		主 な 学 習 内 容				評価方法等
1 学 期	4月	体育理論 ○運動スポーツの文化的特徴 ○運動・スポーツの学び方 ○豊かなスポーツライフの設計 体づくり運動 ○集団行動 ○体力を高める運動 バスケットボール（領域内選択） ○シュート・パス・ドリブル ○オールコートゲーム				体育 各運動領域テスト 有酸素運動総合評価
	5月					
	6月					
	7月					
2 学 期	9月	バレーボール（領域内選択） ○パス・レシーブ・トス・スパイク ○ラリーゲーム ○ゲーム サッカー（領域内選択） ○ドリブル・リフティング・ヘディング・トラップ・シュート ○攻撃と防御 ○ゲーム ソフトボール（領域内選択） ○守備（キャッチボール・ノック） ○攻撃（バッティング） ○ゲーム ラグビー（領域内選択） ○パス・キャッチ・ステップ・キック ○簡易ゲーム				学習意欲・自主性・ 協調性等の総合評価
	10月					
	11月					
	12月					
3 学 期	1月	陸上 ○競走（長距離） バドミントン（領域内選択） ○各種ストローク（フォア、バック）・サービス ○ゲーム ソフトテニス（領域内選択） ○サーブ・レシーブ・ラリー ○ゲーム レスリング ○基本動作 ○対人技能				
	2月					
	3月					
そ の 他						

教 科		保健体育	科 目	保 健	単 位 数	1
履修学年		2 学年	使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店） 現代高等保健ノート（大修館書店）	履修年度	令和 7 年度
科目の目標		保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。				
評価規準 （評価の観点及び趣旨）		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
		○個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能も身に付いたか評価する。	○個人生活や社会生活における健康・安全に関する内容について科学的に思考・判断し、それらを、筋道を立てて他社に表現できているかを評価する。	○自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復をめざそうとする態度を評価する。		
評価の方法		・ 定期考査の成績と、授業態度、保健ノートの整理状況や課題への取り組みなどを点検し、総合的に評価する。 ・ 保健ノートは、正確さ、丁寧さや工夫している点があるかどうかを評価する。				
学期	月	時数	主 な 学 習 内 容			評価方法等
1 学期	4月	2	3 生涯を通じる健康 1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶 6. 結婚生活と健康 7. 中高年層と健康 1 学期末テスト			心・意欲・態度 （授業・提出物・プリント・各考査） 思考・判断 （提出物・発表内容）
	5月	3				
	6月	4				
	7月	3				
2 学期	9月	2	8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活 4 健康を支える環境づくり 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性 2 学期末テスト			知識・理解 （各考査・提出物・プリント）
	10月	3				
	11月	4				
	12月	2				
3 学期	1月	2	6. 食品衛生にかかわる活動 7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医薬品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や社会的対策 学年末テスト 11. 健康に関する環境づくりと社会参加			
	2月	3				
	3月	2				
そ の 他						

教 科		保健体育	科 目	体 育	単 位 数	2	
履修学年		3学年	使用教科書	アクティブスポーツ（大修館）	履修年度	令和7年度	
科目の目標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。					
評価規準 （評価の観点及び趣旨）		知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
		○運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようになり、運動の多様性や体力の必要性の理解を基に技能を身に付けることができたかを評価する。		○生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができたかを評価する。	○運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲と健康・安全を確保し、運動に主体的に取り組み、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を評価する。		
評価の方法		・授業に対しての積極的な取り組み，学習意欲，自主性，協調性，各選択種目での技能などを総合的に評価する。					
		主 な 学 習 内 容				評価方法等	
1 学 期	4月	体育理論 ○運動・スポーツの文化的特徴 ○運動・スポーツの学び方 ○豊かなスポーツライフの設計 体づくり運動 ○集団行動 ○体力を高める運動 バスケットボール（領域内選択） ○シュート・パス・ドリブル ○オールコートゲーム バレーボール（領域内選択） ○パス・レシーブ・トス・スパイク ○ラリーゲーム ○ゲーム サッカー（領域内選択） ○ドリブル・リフティング・ヘディング・トラップ・シュート ○攻撃と防御 ○ゲーム ソフトボール（領域内選択） ○守備（キャッチボール・ノック） ○攻撃（バッティング） ○ゲーム 陸上 ○競走（長距離） バドミントン（領域内選択） ○各種ストローク（フォア、バック）・サービス ○ゲーム ソフトテニス（領域内選択） ○サーブ・レシーブ・ラリー ○ゲーム 卓球（領域内選択） ○フォアハンド・バックハンド，サービス ○ゲーム（シングルス・ダブルス）				体育 各運動領域テスト 有酸素運動総合評価	
	5月						
	6月						
	7月						
2 学 期	9月					学習意欲・自主性・ 協調性等の総合評価	
	10月						
	11月						
	12月						
3 学 期	1月						
	2月						
	3月						
そ の 他							

教 科	芸 術	科 目	美 術 1	単 位 数	2
履修学年	1 学年	使用教科書	美術 1 光村図書	履修年度	令和 7 年度
科目の 目標	美術の基礎となる、ものの見方や描写力、表現方法を様々な素材を通して身につける。 自分のイメージを絵画、彫刻、デザイン等を通して、創造的に表現できる力を養う。 表現と鑑賞を通して、美術を愛する心を育てる。				

評価基準	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
	主題を表すのに適した技法や方法を選んでいる。 技術や方法を工夫して効果的に表現している。	題材の狙いを理解し、主題生成、発想、構想を練ろうとしている。 作品や作者について、感じ取り、理解する。また、そのことについて自分の言葉で表現しようとする。	集中して授業に臨み、作品制作や課題に取り組もうとしている。
評価方法	作品等	ワークシート アイデアスケッチ 鑑賞プリント等	出席 授業態度 提出物 忘れ物等
	作品の完成度、目標到達の度合い、授業態度を総合的に評価する。		

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評 価
1 学期	4 5	10	鉛筆デッサン	1. 鉛筆の使い方を身につける。 2. 時間をかけてより詳しく形態を把握し 描く力を身につける。 3. トーンや量感について理解する。	③出席・授業態度 ①作品
	6 7	16	デザイン	1. デザインについて学び、彩色や構成技法を習得する。 2. 「テーマ」に沿ったデザインを制作し自分のイメージを表現する。	③出席・授業態度 ②ワークシート・アイデアスケッチ等 ①作品
2 学期	9 10	18	立体構成	1. 素材に触れてその性質を観察し、目的に沿った立体デザインを考案する。 2. 手順を考えて作業し、素材に合った道具や接着方法などを工夫し選択する。	③出席・授業態度 ②鑑賞プリント等 ①作品
	11 12	14	デザイン	1. テーマに合ったデザインを発想・表現する。 2. マークデザインについて、色彩・構成要素の理解をし、表現する。	③出席・授業態度 ②鑑賞プリント等 ①作品
3 学期	1 2	8	絵画	1. 美術史上の過去の作品を鑑賞し、作品の良さや美しさを感じ取る。 2. 鑑賞から自己の興味ある表現方法を探り、テーマに合わせて表現する。	③出席・授業態度 ②鑑賞プリント等 ①作品
	3	4	まとめ	1. 作品を鑑賞し 1 年間を振り返る。 2. 作品返却、片付け。	③出席・授業態度 ②プリント等

教 科	家庭	科 目	家庭基礎	単 位 数	2
履修学年	2学年	使用教科書	「家庭基礎」(実教出版)	履修年度	令和7年度
科目の 目標	生きていく基本としての考え方を身に付け食生活・消費生活 ・人間の関わり・高齢者について考え、生活に必要な知識や技術を習得する。				

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に取り組む態度
評価 規 準	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
評価 方 法	授業中の観察・プリント 定期考査	定期考査・プリント	授業中の観察・プリント 定期考査
	家庭科の教科に関する興味関心、意欲などを学習プリント、その他の課題の提出により判断します。学習ノートの整理、進行状況を参考にしています。 定期考査の結果を併せて、総合的に評価します。		

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評 価 基 準
1 学 期	4	6	自分らしい生き方と家族 衣生活をつくる	2 自立した生き方 3 共に生きる家族	【知識・技能】 自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる 【思考・判断・表現】 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 【主体的に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりくもうとしている。
	5				
	6	10			
	7	17		1 人と衣服の関わり 2 衣服の素材の種類と特徴 ※エプロン製作	

			食生活をつくる	2 栄養と食品の関わり※調理実習 5 食品の選び方と安全※調理実習	【知識・技能】 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる 【思考・判断・表現】 ・調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 【主体的に取り組む態度】 食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。
2 学 期	9 10 11 12	6 10	高齢者とかかわる	2 高齢者を知る 3 高齢者の自立を支える	【知識・技能】 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 【主体的に取り組む態度】 高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。
			子どもとかかわる	2 子どもの発達 ※調理実習 4 子どもの生活 5 子どものための社会福祉	【知識・技能】 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 【主体的に取り組む態度】 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。
3 学 期	1 2 3	11	経済的に自立する 消費行動を考える。	1 暮らしと経済 2 消費生活の現状と課題 3 消費者の権利と責任	【知識・技能】 家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 【思考・判断・表現】 消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。
			住生活をつくる	1 人と住まいの関わり 3 住まいを計画する 5 安全な住まい	【知識・技能】 住まいの役割・機能について、地域の特性などをふまえて調査・研究ができる 【思考・判断・表現】 ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えを深めることができる。 【主体的に取り組む態度】 住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。